

既存試料・情報を用いる研究についての情報公開

本学では、医学系研究に協力して下さる方々（以下研究対象者）の利益と安全を守り、安心して研究に参加していただくように心がけております。こちらに記載されている研究については、既存の研究の目的のため収集・保存された試料・情報を用いる研究で、直接研究対象者からインフォームド・コンセントを取得することが困難であるため、情報公開をさせていただいております。

こちらの文書は研究対象者の皆様に、情報公開をするとともに、研究参加を拒否または同意撤回の機会を保障する為のものになります。

なお、研究参加を拒否または同意撤回されても一切の不利益はないことを明記させていただきます。

| | |
|--------------|---|
| 受付番号 | 倫理第 1532 号 |
| 研究課題 | 研修医のストレスに関する実態調査 |
| 本研究の実施体制 | 研究責任者：熊本大学医学部附属病院 地域医療・総合診療実践学寄附講座 特任助教 佐土原 道人 共同研究者：なし 平成 20 年 4 月から平成 22 年 3 月までの徳洲会グループの研修医を対象に収集されたストレス調査のデータを使用し、熊本大学大学院医学教育部公衆衛生学分野の指導の下解析を行う。 |
| 本研究の目的及び意義 | 本研究は、新医師臨床研修制度開始後の研修医の勤務環境とストレス、抑うつ、燃え尽き、アルコールの乱用、気晴らしのための薬物使用などの関係について、それぞれのスコアの経時的変化やそれぞれのスコアの相関を解析して、防止につなげるものである。 |
| 研究の方法 | 研究対象者は、平成 20 年度の管理型臨床研修病院（採用人数が 2 名以下は除く）の研修医で、今回は、その対象者に対して行った 4 回のアンケート結果を使用する。研修の勤務環境とストレス、抑うつ、燃え尽き、アルコールの乱用、気晴らしのための薬物使用などの関係について、それぞれの質問紙票のスコアの刑事的な変化や、それぞれのスコアの相関について解析する。結果は、関連学会紙に発表の予定である。 |
| 研究期間 | 平成 30 年 07 月 20 日 から 令和 7 年 3 月 31 日まで |
| 試料・情報の取得期間 | 平成 20 年 4 月から平成 22 年 3 月まで |
| 研究に利用する試料・情報 | 平成 20 年 4 月から平成 22 年 3 月までに収集された徳洲会グループに所属する研修医に対して行われたアンケート調査の結果を利用。 情報の保管担当者は、研究責任者である熊本大学医学部附属病院 地域医療・総合診療実践学寄附講座特任助教佐土原道人である。研究が終わった平成 31 年 3 月 31 日をもって、アンケート結果および得られたデータを破棄する。 |

個人情報の取扱い

すでにアンケート結果は、連結不可能な情報となっており、対応表は破棄されており、個人が識別できる状態でない。個人情報の外部機関への提供も不可能である。データは、集団の平均値などの数値で表されるため、研究成果の報告でも個人が特定されるものではない。

研究成果に関する情報の開示・報告・閲覧の方法

研究成果は、すでに概要は、徳洲会グループの広報誌にて発表されている。今回は、さらに詳しい解析を、学会紙に投稿の予定である。研修対象者からの開示については、情報はすでに個人と連結不可能となっているために、個人の結果、そのものをフィードバックすることはできない。

利益相反について

本アンケート調査自体は、必要経費は徳洲会グループ病院が負担している。

なお、調査期間中は、研究責任者である佐土原道人は、徳洲会グループにより医師としての報酬をえていた。現在は、徳洲会グループを退職しており、開示すべき利益相関はない。

熊本大学では、アンケートによって得られたデータを使用するため研究費は生じない。

本研究の利害関係の公正性については、熊本大学大学院生命科学研究部等臨床研究利益相反審査委員会の承認を得ており、今後も、当該研究経過を熊本大学大学院生命科学研究部長へ報告すること等により、利害関係の公正性を保つ。

本研究参加へのお断りの申し出について

本研究は、調査自体は終了して、すでに個人が特定できない連結不可能な情報となっているので、情報の利用を撤回する手段がない。

本研究に関する問い合わせ

熊本大学病院 地域医療・総合診療実践学寄附講座

特任助教 佐土原 道人

電話番号 096-373-5794